

熊本市が発行するグリーン/ブルーボンドのご案内

年限
10年

対象
法人向け

各公債の金額
1,000万円

条件決定日
**2023年
12月** 予定

熊本市は西日本の自治体として
初めて事業のブルー性を認められました



「熊本市グリーン/ブルーボンド」の概要

年限	10年（満期一括償還）
発行額	50億円
条件決定日	2023年12月を予定
引受会社	みずほ証券株式会社（事務）／三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
適合性評価	本債券の発行に際し、資金使途などを明記した発行の枠組み（グリーン/ブルーボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所(JCR)から、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版、国際金融公社（IFC）によるBlue Finance Guidelines への適合性について、最上位である「Green1(F)及び「Blue1(F)」の評価を受けています。
購入対象先	法人向け
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本市ホームページ上で投資家名をご紹介します

「グリーン/ブルーボンド」について

地球温暖化など環境課題の解決に貢献する

取組を「グリーンプロジェクト」と言います。

また、「グリーンプロジェクト」のうち海洋資源・生態系の保護、淡水資源の保全等に資する取組を

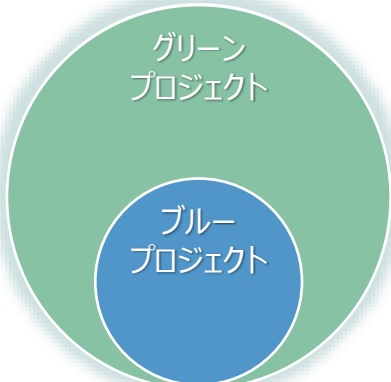
「ブループロジェクト」と言い、

こうした「グリーン/ブループロジェクト」に

必要な資金を調達するために発行される債券を

「グリーン/ブルーボンド」と言います。

熊本市は地下水保全の取組などの
ブループロジェクトを資金使途に含めた
「グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」を策定しました

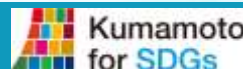


※イメージ

熊本市初のグリーン/ブルーボンドを発行します

- 熊本市は地下水などの恵まれた自然環境の保全に加え、気候変動や生物多様性の損失などの地球規模の環境問題にも率先して取組む姿勢を明確に示していくために、その資金使途を環境改善効果のある事業に限定したグリーン/ブルーボンドを発行します。
- グリーン/ブルーボンドの発行により、市民や事業者の環境保全に向けた更なる意識向上を図るとともに、県内外の幅広い自治体や事業者も巻き込み、ESG投資に対する機運醸成を図ることで、「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」の実現に向けた取組を進めてまいります。

充当予定事業の具体的事例（一部）



地下水保全に寄与する取組

熊本市の水道と下水道

水は、海や陸から蒸発して雲となり、雨や雪となって、再び地上に降り注ぎ、河川水や地下水として自然に恵を与え、再び海への流れていきます。水はこのように姿を変えながら、絶えず自然の中で循環しています。



地下水保全に寄与する水道施設や公共下水道の整備

水や緑などの良好な自然環境の保全



環境保護地区の保全

ヒートアイランド対策



市電緑のじゅうたん

電気自動車の導入



公用車のEV化

「熊本市グリーン/ブルーボンドフレームワーク」について

- グリーン/ブルーボンドの発行にあたり、充当事業選定のプロセス、資金管理方法、レポーティング方法等について、フレームワークを作成しています。
- フレームワークの詳細については、本市ホームページ上で公開しています。

URL : https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/Detail.aspx?c_id=5&id=2422



お問い合わせ先

みずほ証券株式会社	熊本支店	(電話) 096-356-2538
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	九州法人部熊本ブロック	(電話) 096-355-4587